

# 47 広島県沿岸部のはげ山を復旧した治山事業

広島県（呉市ほか）



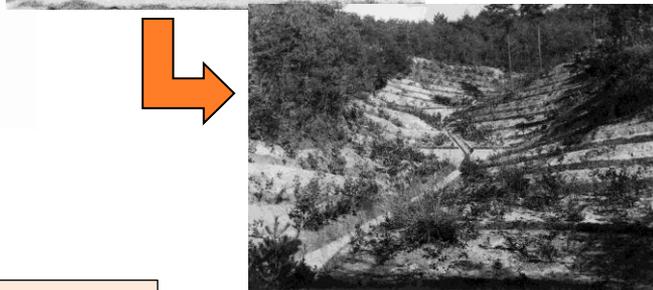
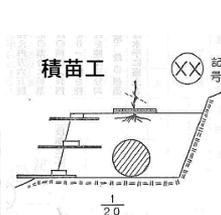
施工状況（昭和18年）



工事施工直後（昭和24年）：呉市



現在の状況（平成23年）：呉市



## ○所在場所

広島県呉市、竹原市、三原市ほか瀬戸内海沿岸部

## ○施設・工法の概要

三枚積苗工、三段藁芝工などの階段筋工

## ○解説

江戸時代初期、広島藩により賀茂川下流の竹原湾を埋め立て、大規模な入浜式塩田として開発された竹原塩田は、良質な塩を生産したため、遠くは青森まで運搬されるほど繁栄しました。

竹原塩田の全盛から塩田燃料が石炭に変わるまでの100年は新材確保のための乱伐が続き、多くの地方で森林が消失し、瀬戸内海沿岸部にはげ山を形成する起因となりました。

その後、主に戦後から始まった治山事業による「はげ山復旧工事」により、荒廃した森林の緑化に成功し、現在も地域住民の安全安心に多大な貢献を果たしています。